

定時制高校の多くの生徒が個々の課題を抱え、卒業後の就労、自立が困難な現状にあるなか、教育委員会就労支援員、定時制高校教諭、若者ポートステーションとの連携し、自立促進を兼ね在学生へのアルバイト紹介、最終学年生徒への就職先紹介を丁寧に行う。

内 容

定時制生徒自立支援 プロジェクト



全体の流れ（役割分担）

0、カフェ等でのアルバイト相談

1、対象生徒への参加働きかけ

2、希望生徒の参加承諾

3、担当者による情報交換と職場のマッチング

4、「体験」による適性判断 ※面接の代替としての位置付け

無償ボランティア終了後、情報交換

5、生徒・事業者の合意によって「アルバイト」へ移行

定着まで施設との情報交換

6、就職・自立へのサポート

実施の成果・効果

令和5年度より検討、令和6年度より事業を開始した。
生徒、担当教諭とともに施設見学同行し、説明を受け、先生から連絡を受けてマッチングしています。就労後の様子を連絡し合い、定着支援をしています。

●令和6年実績（11月8日現在）

アルバイト就労3件：特別養護老人ホーム2件、保育園1件）

常勤（令和6年4月より）1件：特別養護老人ホーム

対象となる
生徒のイメージ

不登校経験

- ・対人スキルの不安や欠如
- ・社会経験が少ない
- ・将来、就職できる自信がない

進路不安

- ・将来何をしてよいかわからない
- ・何ができるかわからない

生徒によって理由が
複合的になる場合も多い

経済的困窮

- ・しかし、アルバイトをしたいが、なかなか採用されない